

令和6年度 学校評価

- 1 学校教育目標（P. 7参照）
- 2 自己評価総括表
- 3 生徒による評価総括表
- 4 保護者による評価総括表

城北高等学校

3 自己評価総括表 評価基準(4:十分達成 3:おおむね達成 2:やや不十分 1:不十分)

評価項目		具体的目標(評価の観点)	R6評価	R5評価	R4評価
大項目	小項目				
学校経営	建学の精神に則った教育目標の実践	建学の精神に則った教育活動の実践ができています。愛と指導力と感性で生徒の可能性を引き出し、生徒・保護者・中学校・地域を満足させる教育の実践ができています。	2.9	3.1	3.1
	特色ある学校(学科、コース)づくり	学科・コースの特色が明確であり、その特色や実績を高める教育活動が実践できている。また、個々の生徒一人ひとりの学力を伸長する教育活動の展開ができています。	3.1	3.1	3
	地域からの信頼と、開かれた学校づくり	各学科コースの特色を生かした地域貢献活動等が充実しており、地域やPTA、各種団体との連携を図り、地域活動行事、学校行事、ボランティア等への積極的参加・活動ができています。また、生徒の活動、頑張りをホームページや学校新聞、広報誌等で地域や中学校等に情報発信ができています。	3.1	3.1	3.1
	教育環境の整備	施設や設備の充実・改善や、危険箇所等の早期発見、早期対応ができています。	2.5	2.6	2.9
今年度はマロンウォークとして地域や装飾古墳館も巻き込みながらイベント実施ができたこと。今年度もバレーボール部入部生徒が専願での受験者が多数いたこと。					
選択授業の教室がないことがあります。教室の確保をお願いします					
サロン等参加することができた。トイレが改修され、快適になった。					
マロンウォークなど地域の方と交流し、色んな方から良い生徒ですねや良い取り組みですねと言われた時はとても良い成果であったと思います。					
人員を増やしたり、仕事を減らせばもう少し余裕ができて生徒一人ひとりをもっとよくみることができると思います。					
選ばれる学校として道筋はついていないなか、各科、部活動、各種イベント参加など評価をいただいている現状は成果と思われる。教職員の方向性や柔軟性など検討しなければならない点もある。					
設備等の破損等に対しては、事務室に伝えればすぐに改善していただいています。特色ある学科作りなどにおいては年々レベルアップしているように感じますが、広報面においては、まだまだであると感じます。学科や部活動単位で行うのではなく、インスタ担当やマスコミ担当などを決めて固定の教員が行った方が良いのではないかと思います。					
部活動など一部のホームページの更新ができていない、以前はあったが部顧問も変わったりするので毎年更新講習を行なってより最新の情報提供を行えるようにしたい、インスタについても担当者に情報をあげ活発に更新し情報発信に協力していきたい。心を磨き育てる、豊かな人間性をはぐくむについてはやっているつもりになっている部分(伝わる子には伝わる)と自身の力の無さ(伝わらない子には伝わらない・伝え方が悪い・わかってない?)に打ちひしがれています。					
外(生徒募集)に対し、内(授業・学力)が犠牲になっている感じ。卒業のみを目指す生徒にはいいかもしれないが					
心を育てる教育では、人権意識の欠如やいじめ問題もあったので、取り組みとしては次年度に課題を残したと思う。学科コースの課題としては、特進のあり方は大きな課題点だと思う。国公立大や難関私大への受験が皆無となり、このままのスタンスであれば学科改編も考慮しなければならないと思う。					
危険箇所等の早期発見、早期対応ができています。					
備品・物品の故障や劣化があっても、費用がかかるものは購入しづらい点					
地域社会において、本校の評判が良いのは、各種の成果の現れだと思えます。					
色んなものが対処療法だったと思っています。吉岡先生がよくお話しされる、「動く」ことを次年度のテーマにしたいと思っています。ただ、3者面談や保護者召喚を通して繋がりが少しずつ構築できていると思うので、これからも発信していきたいと考えています。					
学科のボランティア活動が十分でない。一年生からどんどん出したい。それが生徒募集や学校の特色アピールにつながる。が、いろんな意味でパワー不足。					
地域の方々から「城北の生徒はいいですね」という声をよく聞きます。さらに外部への情報発信に力を注ぎ、信頼を得ると同時に生徒獲得にとと努めていかなければならないと思います。					
今年度は英検取得における塾との提携により、例年以上に合格者を出すことができた。課題はスクールパスによる授業や補講ができなくなる点。					
各学科・コースで特徴ある取り組みができていると思う。各学科・コースと特徴を活かし連携した取り組みがあるといいと思う。破損箇所等連絡した場合、素早く対応していただいている					
修理箇所等に関しては、事務部で早急に対応していただき助かっている。部活動生のおかげで、外はとても綺麗である。校舎内の掲示物や整理整頓等は工夫する必要がある。					
高校卒業後の専攻科が同じ棟で学ぶことは疑問です。高校生気分が抜けない。自立阻む傾向。時間割も違う。落ち着いて学習に取り組めない。					
各科の努力で外部への発信や広報ができた					
様々な学科における学生の活躍が成果につながっているように感じる。まずは学生を1番に考えることで、それが学校けいえいにつながると言える。					
何を持って「心を磨き育てる」のかが明確でない。担任(人)によって温度差があると感じる。					
専門教科の器具の整備をお願いしたい。修理をかさねるばかりではかえって経費がかかっているのではないかと感じる。多いと感じます。					
【成果】それぞれの持ち場で、やるべき事をきちんとやり遂げようと努めている。 【課題】連携と協力が足りないと思う場面がある。					
少子化の中、200名近い生徒が入学することは成果があったと思う。課題は市内の人気高校のような施設、留学生がいない事。					
生徒たちが高校3年間で成長しているのを感じる。様々な課題を持った生徒もいるが、担任の先生、教科担当の先生方が、本当に時間をかけて向き合っておられると感心する。また、学校から外に出て、地域でボランティアをする機会も増え、そこで活躍する生徒がたくさんいる。					
各学科で山鹿に貢献した活動ができています。					
日々の教育活動の中で実践出来ている。OCでは看護専攻科らしい特色が出せている。実習や看護観の発表会など外部指導者など					
看護専攻科にプロジェクターが設置されたり、シミュレーターの設置など環境は整備されている。必須な設備ではないがマイクなど不足している部分がある。					

評価項目		具体的目標(評価の観点)	R6評価	R5評価	R4評価
大項目	小項目				
学力向上	力をつける授業の実践	研修や授業研究等で教師間における指導力の向上を図るとともに、常に教材研究や学習指導方法の工夫・改善を施し、授業力向上が図れている。振り返りシート等を活用し、自らの授業を客観的に研究、改善し、生徒に力をつけ、効果ある授業が実施できている。	2.5	2.7	2.6
	教育課程と時数の確保	各学科コースの特色を生かした教育課程と3年間を見据えた指導計画のもと授業の展開ができています。各学科コースの特色を生かしたシラバスの作成と、生徒の学力向上を目指した授業時数の確保ができています。	2.6	2.6	2.6
	学習習慣と基礎学力の定着	学習習慣の確立へ向けた家庭学習の習慣化を図るための工夫や、生徒の状況を把握した適切な課題学習提供や個々の生徒の習熟状況の把握ができており、成果がでている。	2.3	2.4	2.4
家庭学習をしている生徒が少ないのが現状で、習慣化を図る工夫はできていないと思う。					
部活動中心の生活を送っている生徒が多く在籍し、家庭学習の習慣があまりついていない現状がある。進路活動本格的になってくることを想定して、ホームルーム等の時間を使い文章を書く力を身につけさせたいと思い実践している。					
生徒の学習レベルに合わせて、少しわかった作戦でわかりましたのクセがつけば授業も楽しくなっているようなので来年度も継続して行います					
評価を意識することで、授業のポイント等絞りがやすくなった。学校生活(高校)不適応状態の生徒への対応が課題。					
課題としては、学習習慣を身につけさせることはあまりできていなかったと思います。特にスポーツコースがその習慣が身につけていないので改善していきたい。					
学力の差もあり、各学科ごとの特色もなかなか活かせていないと思う。できること達を伸ばしたいけど、学力の低い子もいて伸ばせないみたいな感じ					
各科コースの特性、特色を活かし方向性は定まっているので、具体的学力向上策を深化させることと思う。普通教科と専門教科の違いが大きく、人員配置、常勤教員の確保など課題である。					
低学力の生徒への対応は難しく、全日制高校における個別指導には限界があると感じます。また、厳しい生徒への指導に時間がかかり、能力の高い生徒の学力を伸ばしきれないことに対しても課題を感じます。					
基礎学力の定着ができた生徒については、成績の向上が著しかった。しかし、厳しい状態の生徒も多く二極化が起こり、全体の授業としては吹きこぼれ状態が起きていることが大きな課題。					
学力向上については、必須の課題でありクラス内にも学力・運動能力などにおいて様々な生徒がいる中での一斉授業に課題を感じている、習熟度別やチームティーチングなどを行なっていただきたいがマンパワー(人数)不足であり行えない現状が長く続いている。					
入学してくる生徒の学力差もあり、できる生徒とできない生徒の格差が広がっている。					
学習習慣の定着については、家庭訪問や三者面談等で保護書にも再三再四伝え、効果を示した生徒がいた。残念ながら、全ての生徒が覚醒したわけではないので、そのような生徒への対応が課題である。					
自学ノート、希望手帳の提出などよく取り組まれていると思う。					
科・コースによっては、生徒の学習意欲や基礎学力、能力に大きなバラツキがあり、授業の組み立てやレベルをどの程度にあわせて話をするか等、課題が山積しています。					
学力格差が年々広がりを見せ、どこに焦点を当てているのかわからない場面もたくさんあります。上に合わせたら、取りこぼす。下に合わせると、上は物足りない。カリキュラム通りに進むことが本当に生徒の学力向上に沿っているのか毎年懐疑的になります。ただ、すべてを満足させるべく試行錯誤を辞めるまで続けていかねばと思っています。					
個人としては、年度始めはやる気満々で、時間と共に消沈……。もう少し計画的にすべき、情報収集不足(勉強不足)調理の技術知識を充実させてあげたい。					
○生徒に学力をつける、あるいは魅力ある授業を展開するためには、私たち教師が教材研究をしっかり行い、常に最新の情報を持っておかないといけないと思います。何十年も昔の知識、テクニクで授業を行っていないか、常に自己を振り返る必要があると思います。○授業時数の確保が十分にできていないとおもいます。一部の専門科目を除いて「教科書は終わらないのが当たり前」になってしまっているような気がします。行事等に伴う授業カットを極力減らすとともに、年休、出張に伴う自習でなく個人での授業入れ替えなどに努めたいと思います。○本校の生徒は、中学校での学習習慣が身につけていない状態で入学してくる生徒が多いです。そういう中で、(いろいろな科に授業に行きますが)看護科の生徒はよく勉強します。授業を受ける態度もいいです。					
特別時間割が多く、授業時数が教科科目によって充足率にかなりの違いがある。					
生徒の実態に応じて常に授業内容を工夫改善している					
やむを得ないかもしれませんが、授業カットが多すぎる。行事の精選、5日間のテスト期間を4日間にする、年度末の追試補習期間の短縮、行事準備時間の短縮等、さらに工夫してほしい。					
放課後学習会や、国家試験対策のグループ学習、教員の対策講義など					
特進の授業の教科担当として年配の先生を配置するのは疑問。生徒からの不満を聞いた。					
検定取得や探求型学習により生徒の自主性や、課題解決型の学習を行うことが出来た。ただなかなか合格できない生徒や調査発表が苦手な生徒への指導は課題である。					
高校課程は不明。看護においては、5年という過程があり、もう少し見直しや共有が必要であると思う					
授業の私自身の教材研究の未熟もあるのですが、行事に追われ授業時間の確保ができないことも課題だと思います					
教師側からの働きかけももちろん大切だが、生徒自身が学ぼうとする主体性を身に付けさせる方策を全職員で考え、進めていく。					
成果があれば、特進の生徒は増えると思う。					
授業カットが多かったと思います。前後期制になったからといって、授業時数が確保できていないと思います。また、生徒の学力向上も担当教員任せになっていると思います。					
30点未満がクラスの半分ちかくいる教科がある。					
二学期制で授業時数は若干増えたように思う。教育課程の見直しと行事の精選が課題である。					
国試対策、支援で模試の成績が上がってきた。					
評価項目		具体的目標(評価の観点)	R6評価	R5評価	R4評価
大項目	小項目				
生徒指導	自律心と自尊感情の育成	生徒自ら考え行動し、互いを認め合う教育の実践、黙想や論語教育等、心を育む情操教育ができています。また、生徒への適切な言葉かけや対応で信頼関係の構築ができています。	2.7	3.0	2.8
	基本的な生活習慣の確立	挨拶・時間の厳守、服装指導等の徹底や生徒自らが規範意識をもち生活していく指導ができています。また、学年・学科・校務分掌等における職員間の連携や指導の徹底ができています。	2.5	2.9	2.6
	明るく楽しい学校づくり	問題行動やいじめのない明るく楽しい学校を目指す指導ができています。また、問題の早期発見と素早い対応や、特にいじめ問題についてはアンケート調査等を含め生徒の様子や実態を早期に発見・把握した対応ができています。	2.7	2.9	2.9
	交通指導の強化	交通マナーの向上と交通ルールの遵守を図り、交通事故、違反をなくす交通安全教育ができています。また、自転車、二輪車通学生生については特に登下校時等の安全教育の徹底ができています。	2.5	2.6	2.8
いじめ問題はいくつかあったが、早期対応や外部から連絡がはいる仕組みができていると思う。					
より多くの生徒に日頃の声掛けを増やしていきたい。					
バイク指導の徹底バイクの乗り方指導など					
ホームルーム等を通して伝えることを意識した。本校生徒も大きな交通事故にあったため繰り返し伝えた。					
問題行動が多かったりする部分では課題であると考えますが、早期対応などは行っていたと思う。					

生徒のこれまでを考えると、難しい対応が増えており、指導困難者が増加している。とても難しさを感じている。保護者対応など今の時代の方法を模索しなければならぬと思う。

全体を見た時には落ち着いた学校生活を送れていると感じます。個々を見ますと課題のある生徒はおり、今後も継続した指導をしたいと思えます。教員間の意識の違いはまだに感じます。

重大な事案になる前に発見ができていますが、生徒指導部での対応に限界を感じている。情報の共有も共有にとどまり、連携することができていないように感じる。

職員の連携や指導の徹底(指導の統一)については疑問がある・化粧をしている生徒や服装を授業中注意してもその場では改善してもその後の改善が見られないのは日頃の指導ができていない?行えていないからでは無いだろうか。もちろん担任にしかわからない個人の事情等もあると思うが周りの納得(生徒も自分も)を得ずらく温度差を感じられずにはいられない。もちろん協力は大事だし初期対応を間違えたら大変になる場合もあるので一概には言えないが、なんでも生徒指導部にお願すれば良いというわけではなくある程度学級の指導で済んだのでは無いかなと思うこともある。

一部を除けばほとんどの生徒は行えている。できてないところへの対応が難しい。

いじめ事案が複数回発生した状況を見ると、次年度以降の最重点課題だと思う。学校全体として、各学級として、各担任とて常にメッセージを発信し続ける必要がある。

朝SHRで論語の素読を実践していないクラスがある。

指導はよくなされており、大多数の生徒では良い成果をあげていると思えます。

複数担任制で少しは抱え込まなくなりましたが、最終的にはどうしても抱え込んでしまい、連携を取るにも時間もなく、1つ潰せば、また次と負の連鎖を感じています。自身の能力のなさも痛感しています。

メイハリの生活生活を常に言葉で伝えた一年だった。服装身なりも自分で考えて感じて自分で責任を持ってやってほしいと伝えてきたが、どうでしょうか?結果は、卒業時だと思っています。

今年度、深刻ないじめ事案が複数発生したことは大変残念です。「重大事案」と言っても過言ではないものもありました(まだ解決していないものもあります)。私たち教師が常に危機感を持ってアンテナを高くし、生徒の様子を見守るとともに、日頃の授業の中で「いじめは許さない」ということを言い続けることが必要だと思います。また、LHRの時間を計画的に使う人権教育を進めるべきではないでしょうか。

時間の厳守という点では徹底できていない生徒がいるまた、自律できていない生徒が多くなってきているように感じる

バイク通学生で、オレンジのウインドブレーカーの着用者がほとんどいない。黒が多く、夜は見づらい。

日々熱心に生徒指導の先生はされている。しかし、朝の朝礼の際の報告は詳細がわからぬまま反省内容を聞く場合が多いのですべての教員が聞く必要があるのだろうかと思う。また、アルバイト許可に関して家庭の内情や年収を全員の前で言う必要に疑問を感じます。センシティブな内容だと思います。

下校時自転車の坂道の逆走は無くならない。徹底した指導が必要。

挨拶や返事などの基本的な生活習慣がなかなか身につけていないところもある。いじめについては全職員で生徒へのアプローチや指導が大切である。ホームルーム・部活動・学年など

時代と共に少しずつ緩くてもいいのではないかな。アルバイトなども、経済状況に限らず、これからの社会には必要性も感じる。

論語に関しては月に一度、プリントを配布しているが、どれだけ生徒の心や記憶に残っているのだろうか。先月の論語が言えるのだろうか。7つの学びとパンフレットに記載されている。担当者も工夫をする必要がある。

おおむね出来ている生徒もいるが、近頃、制服のたとえば靴下やスカートの違反をしても平気で職員室や集会に参加している。3年前まではそこまでなかったと思う。また、違反していても悪びれる事もないように感じる。厳しくする事ではなく規範意識の徹底が必要なのではないかと思えます。小さな事ですが、注意しても悪びれない生徒の態度が気になります。

全体的には落ち着いたが、教師の目の届きにくいところで問題行動が発生している。反省文では立派なこと述べているが、考える力や判断力、自制心を働かせることができるように育てていくように日頃から語りかけていく。

全校集会等を通して、全体に心の教育ができていると思う。

生徒の成長を感じる機会が多い。大きな交通事故が二件発生した。

プライバシーの保護の観点もあるので、難しい問題ではあると思うが、内容の共有が抽象的な表現の場合があり、何が課題で、何を改善すべきかわかりづらいことがある。

挨拶ができない生徒が増えた。朝の校門での挨拶指導を以前のようにした方がよい。

評価項目		具体的目標(評価の観点)	R6評価	R5評価	R4評価
大項目	小項目				
進路指導	進路目標設定、進路情報提供	各学年、3年間における進路に関する指導と支援が計画的にできている。各学年次に進路についての生徒の意識を高め、決定に向けての学習意欲向上や計画的学習につなげることができている。	2.9	2.9	2.9
	目標達成へ向け徹底した進学指導	目標達成へ向けての3年間と単年度の具体的計画の確立と実践、指導の強化が図られている。進路希望調査及び模擬試験の結果の早期分析による適切かつ計画的な指導ができている。	2.7	2.8	2.8
	目標達成へ向け徹底した就職指導	目標達成へ向けての3年間と単年度の具体的計画の確立と実践、指導の強化が図られている。進路希望調査及び職業適性等の早期分析による適切かつ計画的な指導ができている。	2.8	2.9	2.8

1年部であったため自分自身今年は不十分なところがあったと感じている。

生徒に寄り添っていただきありがとうございます。すぐ助かっています

各自の進路目標に向かって取り組むことができていた。移行支援が必要な生徒についても、実習などを活用し決めることができた。進学の学校推薦については誰でも受けられる状況に疑問を感じるがあった。

目標とするところに一生懸命取り組み進路を決めることは大半ができていたのではないかなと思う。3年生の時点で進路が全く決まっていなかった生徒もいたので早めに目標を設定してあげるサポートが必要だと感じた。

進路指導と実習指導をリンクさせて進路決定に役立てることができた。就労移行に向けた進路指導から大学進学まで幅広い指導が求められている。

全クラス三者面談の実施など今までよりも進路へ向き合う時間は増えたように感じます。

いかに本人たちに火をつけることが出来るかと思う、今後も進路を意識した活動を取り入れていきたい。進路ガイダンスなど普段と違う環境で行うことは効果的だったと思う。

現時点では、クラスのほとんどが専攻科への進学を考えているため決意が鈍らないようにはたらきかける必要がある。

特進のあり方は、入試段階で考えるべきだと思う。学級人員が少ないから特進を選ぶ生徒や、不登校気味の生徒も特進で入学している状況では、なかなか結果は出せないと思う。

履歴書、自己推薦文などの添削指導の共通理解が不足していた。

多くの生徒においては、希望進路の達成という観点から、良い成果をあげていると思えます。

大学受験に英語の学力向上は必須であると思えます。せめて、特進コース、普通コースには、英語の授業に「ネイティブスピーカー」を導入すべきではないでしょうか。英検受験も大切ですが、生徒の耳を「生きた英語」に慣らすことはもっと大切な気がします。

進路指導部主導というよりも各担任任せになっている。3年部との連携も希薄である。模試の結果では教科担当ととの連携をさらに密にしていかなければならない。

自律することができていない生徒が目立つ 人に頼りっぱなしの生徒が多く自ら考え行動することができる生徒が多い

就職、進学においては早期より対策をおこない、結果につながっている

やはり高校卒業時の進路が1番大事で、中学生や保護者の関心でもあると思う。3年間意欲を持ち続けさせ、成果を出させるのが課題だと思う。																												
具体的な指導はやっていないので、コメントはありません。																												
多くの体験の場面で、生徒の成長を促していると感じます。																												
1年生への進路指導の機会をもっと増やすことが必要だと思う。早めの進路指導が大切。																												
就職状況は良好だと思う。国立大学への進学を増やしたい。																												
看護専攻科では、看護師という目標が定まっている進路指導についてはついては問題はないと思う。																												
<table border="1"> <thead> <tr><th colspan="2">評価項目</th><th rowspan="2">具体的目標(評価の観点)</th><th rowspan="2">R6評価</th><th rowspan="2">R5評価</th><th rowspan="2">R4評価</th></tr> <tr><th>大項目</th><th>小項目</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="2">人権教育の推進</td><td>職員の人権意識の高揚</td><td>校内外の研修会等の参加や日常の教育活動の中で人権意識の向上と教育実践が図れている。また、生徒・保護者対応、教科・クラス指導等の中で、豊かな人権意識を持ち活動できている。</td><td>2.6</td><td>2.8</td><td>3.0</td></tr> <tr><td>生徒の人権意識の高揚</td><td>人権教育を日常の教育の柱に据えた教育実践ができており、豊かな人権感覚を身につけた生徒の育成を図る教育の実践ができています。また、学校行事、学年、クラスにおいて計画的に人権教育の実践ができています。</td><td>2.5</td><td>2.7</td><td>2.9</td></tr> </tbody> </table>					評価項目		具体的目標(評価の観点)	R6評価	R5評価	R4評価	大項目	小項目	人権教育の推進	職員の人権意識の高揚	校内外の研修会等の参加や日常の教育活動の中で人権意識の向上と教育実践が図れている。また、生徒・保護者対応、教科・クラス指導等の中で、豊かな人権意識を持ち活動できている。	2.6	2.8	3.0	生徒の人権意識の高揚	人権教育を日常の教育の柱に据えた教育実践ができており、豊かな人権感覚を身につけた生徒の育成を図る教育の実践ができています。また、学校行事、学年、クラスにおいて計画的に人権教育の実践ができています。	2.5	2.7	2.9					
評価項目		具体的目標(評価の観点)	R6評価	R5評価	R4評価																							
大項目	小項目																											
人権教育の推進	職員の人権意識の高揚	校内外の研修会等の参加や日常の教育活動の中で人権意識の向上と教育実践が図れている。また、生徒・保護者対応、教科・クラス指導等の中で、豊かな人権意識を持ち活動できている。	2.6	2.8	3.0																							
	生徒の人権意識の高揚	人権教育を日常の教育の柱に据えた教育実践ができており、豊かな人権感覚を身につけた生徒の育成を図る教育の実践ができています。また、学校行事、学年、クラスにおいて計画的に人権教育の実践ができています。	2.5	2.7	2.9																							
今年度学年での取り組みはなかったと思う。																												
クラス運営の際生徒間同士でもっと高められるようにしていきたい。																												
まずは先生方のコミュニケーションを																												
日頃から個を理解し、認め合う大切さを生徒たちから学ぶことも多かった。SNSによる人権侵害など時代に合わせた人権教育の大切さを感じる事案もあった。																												
保護者への連絡など厳かになっている部分がかかりあった。もっとしっかり計画的に行うことが必要だと感じた。																												
日常的に言葉の使い方、行動、振る舞い、常に言い続けていくことが必要である。																												
講話や研修、レポート作成・研修など具体的な実践があり、成果もあると思うが、教員の実践に反映されている気があまりない。																												
人権感覚の向上と考えれば考えるほど動きづらくなる部分がある、ダメなものを面と向かってダメと言えてないのでは無いただろうかと自問自答することもある。																												
意識は言葉づかいに現れると思う。教員の中でも、言葉づかいの難ありの人がいると思う。生徒のに対して、教員間のやりとりについてもリスペクトの心があれば、丁寧な言葉づかいをお願いしたい。生徒に対して、◯◯ちゃんと呼ぶのはやめてほしい。周りにいて気分が悪い。																												
人権教育を日常の教育活動のなかで実践ができた。																												
指導の通らない生徒が存在することも事実で、これらの生徒とどう向き合っていくかというのが課題だと思います。																												
年々、生徒も保護者も様々なことに寛容ではなくなってきた感じがします。子どもがやったことは悪いのですが、あれはどうなんですか？とおっしゃる保護者も増え、対応に困っています。																												
クラス内での言葉について、人権無視のような言葉は、その都度訂正するが、まだまだです。																												
計画的な人権学習の必要性を強く感じます。																												
個々人で行なっているように思う。																												
他との違いを理解できていない生徒が目立つ																												
HRなどで、人権においては必要性を十分に伝えている																												
自分の行動が他の人との感じ方の違いを知らせる方法が私の中では課題です																												
人を困らせるのではなく、喜ばせることが素晴らしいことを体感させていきたい。																												
職員や生徒の人権教育のために担当者の先生は出張など熱心にされていると思う。																												
学年集会や全校集会、授業の中で、人権意識を高める指導がなされていると感じる。																												
人権教育の授業が今年ではできていない。																												
研修会へ参加し新たな気づき。																												
いじめ事案が起こっている。ホームルームの効果的な活用で、仲間づくり力を注ぐ必要があると思う。																												
<table border="1"> <thead> <tr><th colspan="2">評価項目</th><th rowspan="2">具体的目標(評価の観点)</th><th rowspan="2">R6評価</th><th rowspan="2">R5評価</th><th rowspan="2">R4評価</th></tr> <tr><th>大項目</th><th>小項目</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="3">特別活動</td><td>適切な学校行事の実施と充実</td><td>生徒が意欲的かつ自主的に学校行事に参加し、他と協力し合う協調性の育成を図る指導ができています。また、学校行事は個々の生徒の成長への効果的な機会となっている。</td><td>2.9</td><td>3.2</td><td>2.9</td></tr> <tr><td>生徒会活動と委員会活動の活性化</td><td>生徒自らが主体となり活動する生徒会、委員会活動となっている。生徒会・委員会の運営、役割について明確化されており、生徒自らが主体的かつ計画的に活動するよう組織となっている。</td><td>2.8</td><td>2.9</td><td>2.9</td></tr> <tr><td>部活動の活性化</td><td>スポーツ・文化部活動の活性化と向上が図れている。また、部活動をとおして、人間形成や協調性、規範意識の向上へと繋がっている。</td><td>2.9</td><td>2.8</td><td>2.6</td></tr> </tbody> </table>					評価項目		具体的目標(評価の観点)	R6評価	R5評価	R4評価	大項目	小項目	特別活動	適切な学校行事の実施と充実	生徒が意欲的かつ自主的に学校行事に参加し、他と協力し合う協調性の育成を図る指導ができています。また、学校行事は個々の生徒の成長への効果的な機会となっている。	2.9	3.2	2.9	生徒会活動と委員会活動の活性化	生徒自らが主体となり活動する生徒会、委員会活動となっている。生徒会・委員会の運営、役割について明確化されており、生徒自らが主体的かつ計画的に活動するよう組織となっている。	2.8	2.9	2.9	部活動の活性化	スポーツ・文化部活動の活性化と向上が図れている。また、部活動をとおして、人間形成や協調性、規範意識の向上へと繋がっている。	2.9	2.8	2.6
評価項目		具体的目標(評価の観点)	R6評価	R5評価	R4評価																							
大項目	小項目																											
特別活動	適切な学校行事の実施と充実	生徒が意欲的かつ自主的に学校行事に参加し、他と協力し合う協調性の育成を図る指導ができています。また、学校行事は個々の生徒の成長への効果的な機会となっている。	2.9	3.2	2.9																							
	生徒会活動と委員会活動の活性化	生徒自らが主体となり活動する生徒会、委員会活動となっている。生徒会・委員会の運営、役割について明確化されており、生徒自らが主体的かつ計画的に活動するよう組織となっている。	2.8	2.9	2.9																							
	部活動の活性化	スポーツ・文化部活動の活性化と向上が図れている。また、部活動をとおして、人間形成や協調性、規範意識の向上へと繋がっている。	2.9	2.8	2.6																							
スポ科担任をしているが、スポ科生徒の規範意識が低下してきていると感じる。																												
部活動に在籍している生徒がさらに規範意識を高め競技力を伸ばす必要があると考える。																												
行事など早めに内容が知りたいです、協力、指導をはやめたい																												
体育祭、学園祭、部活動を通して生徒たちの自主性や協調性を見ることができた。																												
部活動生が模範である行動をできていないと感じる。																												
日ごろの活動が結果につながればいいが、さまざまな生徒があり、個別対応が必要不可欠である。働き方との兼ね合いや教員による負担の偏りがあり、限界もある。																												
課題として、部活動が強化部だけの実施になっていると感じる。問題行動なども多くスポーツ奨学生をはじめ、奨学生の規範意識は薄いと感じる。																												
生徒の力に驚かされることある、生徒が持っている力をどんどん発揮してもらえよう取り組みを今後も行っていきたい。																												
生徒会を除くと受身的、やらされ感が強い印象。やってみたら充実感を感じてもらうが																												
生徒会や各部活は、本当に頑張っている。特に、部活を指導する職員には頭が下がります。																												
部活動の生徒の一部やる気をなくした生徒が見られた。																												
成果や課題については、各部活動ごとに大きく異なると思います。																												
基本的に部活は一人で見ること。お忙しいのは分かるが、それもお互い様。出来る人に負担だけかかっています。																												
委員会活動のクラス間での共通理解ができなかった。																												
生徒総会が、「生徒の学校に対する要望を表明する場(校則の変更を要求する場)」になってしまっている。本来の生徒総会とは、その年1年間の執行部や各委員会の活動内容について、質疑応答を経て、全校生徒が承認する場だと思っています。また、総会の中で「先生方の意見」として、生徒の要求に対する回答が出てくるが、いつ「先生方の意見」が決まったのでしょうか？また、「先生方の意見」について事前に校長先生には了解を得たのでしょうか？毎年、「先生方の意見」として生徒に示された内容に「そうじゃないんじゃない？」それを全教師の総意と思われると思うことがあります。																												
学校行事は多すぎと思う。																												
部活動において意欲をなくす生徒がいること、強化部において他の生徒の模範となる生徒の育成が課題である																												
生徒会の役員は、とてもよくやっている。できれば役員に全部の科から入ってほしい。																												
各部活動努力して指導されているが、サッカー一部は生徒指導部分にテコ入れが必要。6																												
土日返上で先生方は大変だと思います。奨学生で本校に入学したのに、メンバーから外れ、やる気がなくなった生徒への対応を考えねばと感じています。																												
学校行事の整備は必要と思います。今までの行事に費やす時間や新たな行事の変更等、見直す時期があるのではないかと思います																												
指導者の負担軽減を今後も進めていくようにする。																												
行事の精選をお願いしたい。																												
特別活動を通しての生徒の成長は大きいと感じるが、学校行事の中でのトラブルも頻繁に起きているのも事実。事前の指導も必ず行事は生徒の成長につながっている。生徒会も頑張っている。強化部以外の部活を活性化させたい。																												
あまり接点がないため、コメントできない。																												
部活動生の問題行動が顧問だけが対応しなければならなくなっているような気がする。クラス担任と連携し、生徒をいろいろな角度から育てるべきだと思う。																												

評価項目		具体的目標(評価の観点)	評価	評価	評価		
大項目	小項目						
各部 及び 専攻科	総務部	生徒募集へと繋げるオープンキャンパス・教育実践入試説明会・中学校訪問・各説明会を充実させる学校案内、ポスター、募集要項、ホームページ等適切かつ効果的に作成・発信ができています。本校教育・生徒の活躍等の発信ができています。	3.3	3.3	3.1		
		入試問題作成、入学願書配布、入学試験、合格発表までの流れが的確かつ計画的に実施ができています。	3.3	3.1	3.1		
		PTAの繋がり、活動の活性化が図れている。	2.7	2.5	2.7		
		同窓会活動の活性化が図れている。	2.4	2.2	2.1		
		効果的な環境美化の実施、具体的な環境美化計画、心の掃除の実施により、効果的かつ情操教育へと繋げることができています。	2.9	2.9	3.0		
		総務部活動全体について成果と課題					
		今年度は大同窓会を実施することができたが、参加者が少なかった。次回に生かす必要がある。					
		人手不足から多忙すぎる印象がある。人員と作業量のバランス					
		オープンキャンパスなどはかなり色んな方から好評を聞きます。入試などの業務もみんなで協力してできていると思います。					
		お忙しい中頑張っていると思います。					
		ネット出願等、効率の良い入試業務に変わりつつあると感じます。					
		特記なし					
		信岡先生を中心に頑張っていたらと思う、心の掃除については教員間の温度差があるように思う。					
		掃除については共通認識を深める必要がある。教員間で掃除のやり方に差が大きく、机を動かし箒で掃き、雑巾で拭くが基本だと思っていたが、机は動かさない、雑巾も使わない、掃き掃除で終わるクラスもあり、このことはチーム担任にも影響してくるので、掃除はどこまでするのかを一度確認するべきだ。					
		環境美化の実施、心の掃除の実施ができた。					
		校内の環境美化に関しては、寮生の活躍が大きく貢献していると感じています。日々、本当にありがとうございます。ただ、日常の清掃活動に関しては、意欲面に課題のある生徒がかなりいると思います。					
		心の掃除はほとんどできていないと思います。					
		そろそろ入学試験を外注、もしくはマークシート方式にしていだけないでしょうか。時間外手当も分かれますが、プレッシャーはとんでもないです。PTAとの懇親会も複数回必要なのではないでしょうか。					
		同窓会は、周年行事を取り入れたらどうですか？成人式 卒業20、30、還暦など					
		入試問題ですが、「マークシート」解答方式にはなりません。本校の入試問題を見る限り、マークシートで十分対応できると思います。来年度研究して令和9年度入試あたりから取り入れられないでしょうか。					
		PTAや同窓会は活動そのものが難しくなっている。					
		同窓会の活性化が課題と思う これに対しては同窓会活動に対して教員ではなく卒業生が中心となった活動が必至である。このことに対しても教員に任せすぎである。					
		新しくネット出願を導入し何度もミライコンパスとの打ち合わせをされ始めてつくめで本当にご苦労だったと思います。また今年度は大同窓会でしたが、本校職員の参加が少なく卒業生の方々も残念におもわれていました。					
		生徒募集につながるオープンキャンパス～と言われると今年度の入試の志願者数は激減であったので、なかなか意見が出にくい状況がありますが、兎に角昨年度の判定からの流れもあり近隣校からの志願者数の激減や学業奨学生志願者数の減少を来年度止めるためのプロジェクト等を考えなくてはならない。ネット出願の導入年でわからないまま沢山の先生方にご協力いただき、募集要項も例年より早めに完成できた。					
		入試については簡素化する必要もあり、外部委託なども検討する必要がある					
		PTA活動はコロナ以降、簡略化が進んでいます。今後も簡略化が進むと思われることから活動の見直しも考える時期かと思えます					
掃除を頑張る生徒が増えてきている。							
今回初めて大同窓会に参加させていただいて、やり方と周知の仕方を考えることが必要だと感じた。							
生徒募集と環境美化は頑張っている。大同窓会の参加が少なかった。							
PTAや同窓会活動はわからない。中学校への広報活動は精力的にされていると思う。							
PTAや同窓会は、担当者だけになっているので、全体に呼びかけ、全職員で協力すべき。							
評価項目		具体的目標(評価の観点)	評価	評価	評価		
大項目	小項目						
各部 及び 専攻科	教務部	学力保障のための授業時数の確保と効果的な時間割作成、自習時間の減少を図ることができています。	2.8	2.6	2.8		
		目的を明確化し、効果的かつ充実した学校行事の実施ができています。	2.7	3.0	2.8		
		効果的な授業実践のための教材研究と授業の工夫、生徒の学習意欲を喚起する授業が実施ができています。	2.6	2.7	2.9		
		研究授業等を実践し、指導方法の工夫改善を図る教科担当者間における連携で授業の改善、評価の充実を図ることができています。	2.7	2.1	2.5		
		振り返りシート等の活用で、授業や指導を振り返り、工夫改善ができています。	2.7	2.6	2.4		
		職員の指導力向上、意識の向上を図る校内外における効果的な研修ができています。	2.5	2.4	2.3		
		多種多様化する奨学金制度への的確な対応と利用実施生徒、保護者のニーズに合った的確な奨学金制度の案内、手続き、活用ができています。	3.0	2.9	2.9		
		教務部活動全体について成果と課題					
		授業を精選しながら行事計画を立てられていると思う。					
		今年度より始まった前期後期制は、考査日程など振り返る必要もあるが、概ね良かったと思います。					
		特別時間割が多く、授業数の偏りがすごい。専門教科の授業数確保はなかなか難しいと思います。					
		課題として、非常勤の先生の授業数確保ができていない。					
		研究授業は非常に良い取り組みであり刺激になる。					
		授業時数の確保、行事の精選が進んでない。学力保障も高卒としてはどうかと思う生徒が多い。					
		教務としての校内研修があったか定かたではないが、夏季実施している全体の研修を見直してもいいのではないかと。現在、本校が抱えている課題などを、学年単位や学科ごとに討議改善する機会をつくるべきだと思う。					
		入試会議はよく検討が重ねられた。					
教職員一人一人の向上意欲が何より大切だと思います。							
振り返ったり、同じ教科の先生方と話す時間も正直撮れないのが実情です。							
二期性に応じた行事・考査配置、観点別評価規準、学習評価規定、奨学生判定基準の早期見直しが必要だと思う。							

各部 及び 専攻科	教務部	課題は学校行事を減らす。授業を確保していく。私自身もつと教材研究しないといけない。				
		大学への進学実績を向上させるために、我々教員の学力向上が望まれる 授業時数の確保ができていないと思う。				
		評定の算出方法を検討してほしい。観点別の三段階の幅から大きな誤差をうみだしてしまう。観点別評価の出し方はそのままが良いが、評定は総点から出した方がよい。				
		専攻科ではシミュレーション演習や臨地との共同演習など取り組んでいる。				
		特進の進学実績を上げることは生徒募集において必須。そのためには若手の指導教員を。				
		非常勤の先生方の評価を出すことが大変そうである。時間外での仕事。				
		担任業務が多く、授業に時間をかけられないことが現状である				
		自習は割と多かったと感じる。自習の時は、プリントや指示を出すだけでなく、教科内や担任、副担任で自習監督をつける必要がある。実際自習の時に、ふざけてケガや事故が起きている。				
		授業時数の確保が今後の課題				
		授業の技術を磨くための研修が必要と思う。講師招聘も含め、研修時間の確保をお願いしたい。				
		やらなければならないのは分かっているが、多忙で時間が足りない。				
		看護研修会への参加し、シミュレーターを使った演習の活用。				
		具体的にはわからない。				
		今年度初めての2学期制だったが、年度末の成績処理はあまりにも窮屈すぎた。3連休、採点と成績処理をしなければ間に合わなかった。来年度は、成績交換を卒業式後でもいいのではないかな。				
評価項目						
大項目		小項目				
		具体的な目標(評価の観点)		評価		
				評価		
				評価		
各部 及び 専攻科	生徒支援部	基本的生活習慣の確立を目指した、挨拶、服装指導や欠席、遅刻、早退生徒への対応・指導の徹底ができています。				
		2.7	3.0	2.8		
		自主性と規範意識の構築を図るための、校則や社会的マナー・ルールを遵守することの大切さや、そのための効果的な指導の実施ができています。				
		2.7	2.9	2.8		
		規範意識向上と自主性・意識向上につながる特別指導の実施ができています。				
		2.8	2.9	2.8		
		いじめのない、生命を尊重し安全で健康な心身の確立を図る城北スピリッツの精神で、人間の生命の尊厳と互いの人格を認め合う心を育てる指導ができています。				
		2.6	3.0	2.8		
		生徒指導部活動全体について成果と課題				
		服装検査の実施ができていない。				
		いじめ事案については、担任としてどのようにクラスと向き合うべきか考えさせられました。日頃からの一人ひとりとの関わりが大切だと実感しました。				
		色々な生と保護者の対応や会議ご苦労様です。				
		強化部の先生が多く、生徒指導室に人がいないことも多い、指導ができていないのか不安。				
		困難な生徒でも家庭の指導力(親の姿勢)があるか無いかがとても大切だと感じる				
		いじめやそれと疑われる様な事案が増えてきており、今後も増えていくのではないかと感じる。				
		挨拶に関しては、部活生を中心とする奨学生にリードしてほしい。学業奨学生にも、いじめや人格尊重に関しては、人権教育部との連携をお願いしたい。				
		スポ科3年生の後期に入ってから服装の乱れが気になった。遅刻・早退のルールが徹底されていない。				
		大きな問題が表面に出ていない事は、成果として挙げられると思います。				
		本当に尽力されており、感謝しかありません。				
		いじめ事案は本当に残念だったが、いづこでも、誰に対しても起こり得ることだと思った。今年は早期発見早期対応の大切を改めて感じた				
		本校の生徒は、一部を除いて身なり・服装も整っているし、なにより素直だと思います。日頃から生徒支援部長を中心とした取組の成果だと思います。支援部の先生方だけに頼らないようにしなければならぬと思います。				
		生徒支援をするケースが増えてきている中で、常駐が少ないと感じている。				
		素直な生徒が多くいるのだが、指導を受け入れることが難しい生徒がいる。				
服装の乱れが目立つ。						
指導はとめてできていると思う。しかし、学生側の捉え方や意識の問題がある。非常に難しい現状がある。						
設問14、で述べました通り規範マナーの認知が必要だと思います						
生徒指導提要进行を参考に、具体的な方策を講じていく。						
みんな一生懸命頑張っていると思う。残念ながらいじめが発生した。						
具体的にはわからない。						
挨拶ができない、服装の乱れが増えている。また、下校時のスクールバス周辺(特に日暮れが早い時期)の男女間が近い生徒が多かった。たまに複数で見回らなければならないと思う。						

評価項目		具体的目標(評価の観点)	評価	評価	評価
大項目	小項目				
各部 及び 専攻科	人権教育部	豊かな人権感覚を身につける生徒を育てるため、学校全体・学年・クラス等において計画的かつ効果的な人権教育の実施ができています。	2.5	2.4	2.8
		職員の人権意識の高揚を図る校内外研修等の計画的な実施や参加ができています。	2.6	2.8	3.0
		人権教育部活動全体について成果と課題			
		先生方のコミュニケーションを			
		授業、ホームルームにおいて意識するよう心がけた。			
		特記なし			
		色んな意味で人権って難しいと感じる			
		これまで取り組んでいた各学年ごとの人権授業が、今年度は実施できていない。要反省。			
		人権の職員研修の学びがよかった。			
		職員の人権意識を高めるための、松尾先生を招いての研修会ができたのはよかったと思います。生徒に対する人権教育はまだまだだと思います。			
		学年単位での計画に基づいた人権教育が実施できなかった。3年生の面接指導をした際に違反質問にスラスラ答える生徒がおり「統一応募用紙については学習していない」という発言もあった。次年度の主催者の先生には授業作りの時点から担任の指導・支援にあたっていただきたい。			
		命を大切にする講話は今後も続けてほしい。			
		他との違いを認めることができない生徒に対する教育が必要			
		来年度期待します。			
		評価項目		具体的目標(評価の観点)	評価
大項目	小項目				
各部 及び 専攻科	教育支援部	個々の生徒の実態に応じた支援体制の確立と支援特別支援における情報の共有を図り、支援体制を確立し、教育活動全体を通しての支援	3.0	3.1	2.9
		生徒支援における教職員の連携と効果的な組織体制づくり教職員への研修、情報の共有等におけるのバックアップ体制と組織の確立	3.0	2.8	2.7
		教育支援部活動全体について成果と課題			
		教員自身のスキルアップの重要性を感じます。			
		一人ひとりの個性をよく見てそれに合わせて対応を考えられていると思います。			
		支援計画に対する成果と課題を生徒個々で行うことさらに効果的な支援につながると感じます。			
		特記なし			
		吉岡先生にはいつも助けられています。1人で抱え込まず皆で協力して行くことで生徒や保護者、我々教職員の負担感が減ると思う。			
		専門カウンセラーの配置をお願いしたい。			
		支援が必要な生徒の情報共有ができてよかった。			
		いつもおんぶに抱っこで申し訳ない気持ちでいっぱいです。生徒理解の時間を増やしてもらいたいが、現状できないのが実情			
		相談室の対応には、本当に大変だろうと思います。専従の配置の必要性を感じます。			
		定期的に職員朝会での情報提供が行われており、生徒についての情報の共有ができています。			
		今年度は相談室に常駐が増えたことはよかった。			
		支援が必要な生徒に対して関わりを持つ専門のスタッフが必要			
丁寧なサポートが来ている。頭が下がる。					
相談室に来る生徒は固定化していたようだ。どうしたら教室で過ごせるか などの情報共有などが必要だと思う。					
支援計画をたて、その後の経過や成果を教えてください。					
相談室や保健室に頼りすぎた面がある。					
学生の特徴を周知されており、個性に合わせた指導がされていると感じている。					
評価項目		具体的目標(評価の観点)	評価	評価	評価
大項目	小項目				
各部 及び 専攻科	保健体育部	体育的活動の充実体育大会、クラスマッチ、体力錬成行事等体育的行事の充実を図れている。	3.0	3.0	2.7
		保健衛生面の充実、生命尊重を基盤とした、安全で健康な心身の確立と心身の健康に問題を有する生徒への対応の充実を図ることができている。	2.9	2.9	2.8
		保健体育部活動全体について成果と課題			
		持久走後体調を崩す生徒、集団で体育できない生徒など新たな課題が出た来たように感じる。教育支援部、生徒支援部と連携していきたい。			
		クラスマッチで、運動が得意ではない生徒が一息懸命に競技している姿には感動しました。			
		体育大会のやり方について、検討したがよいと思う。時間を持て余す生徒が多すぎる。体力錬成行事が今年はなかったことは少し残念だった。			
		時間がない中、生徒の力や先生方の協力できている。			
		養護教諭の増員をお願いしたい。			
		体育大会の全体練習(特に団に時間を与えての練習)では、生徒がだらだらと無駄に過ごしている時間が長いと思います。			
		体育大会の全体練習が減ったのはよかった。午前3限授業から午前4限授業にして、午後の練習を3限から2限に減らしてほしい。生徒にとっても3限の練習は厳しい。			
		生徒の自主性を尊重する行事になってきている			
		クラスマッチは終日開催ではなく、半日も十分やれると思う。午前中123校時を1.2年生、午後の456校時を3年生というふうにして、他は授業時間の確保をしてほしい。			
		体育大会の練習を短くしてほしい。			
		具体的な活動がよくわからない。			
		体育錬成行事がなかったのが残念だった。			

評価項目		具体的目標(評価の観点)	評価	評価	評価	
大項目	小項目					
各部 及び 専攻科	生徒会	生徒会の役割、運営等を把握整理し、主体的かつ効果的な生徒会活動が できている。	3.0	3.0	3.2	
		生徒会執行部の組織としての連携と各委員会との連携の強化を図り、全体 の活性化を図ることができている。	2.8	2.9	3.0	
		生徒会活動全体について成果と課題				
		早めに要項が知りたい				
		各種連携や、報告相談をしっかりとしてほしい				
		特記なし				
		生徒はよく動いている。				
		学校行事の中心となってよく頑張っている。				
		頑張っていると思います				
		生徒会役員選挙において「信任投票」が多い、というのが生徒の生徒会活動に対する関心の低さを表していると思 います。また、執行部、委員長、副委員長のほとんどが普通科普通コースの生徒であることも課題ではないでしょう か。				
	生徒会は一頑張って活動することができている					
	生徒総会の内容が、生徒から学校への要望を言う会になってる。各委員会の活動について議論する必要があると思 う。委員会活動の様子あまりみえない。学級にも伝えていないクラスが多い様に思う。					
	大変熱心に行なっている。					
	生徒会の頑張りや学校行事が成り立っていると感心する。					
	様々な行事で生徒会の存在は大きい。					
	具体的な具体的な活動はよくわからない。					
	生徒会役員の服装違反が目立ったのは残念だった。よく頑張っている生徒が悩んでいた。服装違反等は、生徒会 顧問だけでなく、クラス担任など教員の指導が必要だった。また、委員長、副委員長は、学科の偏りはなくした方が よい。					
	看護専攻科	看護専攻科教育を通して地域社会に貢献し得る豊かな人間性・創造性を兼 ね備えた看護師を育成するため、専門課程としての教育活動の充実ができ ている。	3.1	2.9	3.2	
		国家試験合格へ向け、計画的、合理的な学習計画・実施ができている。	3.1	3.1	3.1	
		看護専攻科全体について成果と課題				
進路変更する学生が多い点が気になります。高校→専攻科の時点で適性含め見極める必要がある。						
特記なし						
すみません。見えていないので評価できません。						
専攻科はよく頑張っている						
専攻科での進路変更や休学者が増えてきており、対策が必要ではないか。						
臨地との共同、情報交換は積極的にできていると思います。						
計画的、合理的な学習計画の実施はできるが、学生の能力に応じた実施計画が必要。個別支援を早期から入れ て、高校のように塾形式として本人の意欲も重要となると感じた。やらされ感での学生も多く、学習支援はとても難し い。						
事務部	なるべく原級留置を出さずに、看護師試験合格100パーセントを達成してほしい。					
	年間計画にて模試を10回、時間外での支援など行った。					
	学習進度がわかりづらく、他の教員(高校含む)の授業内容が把握しづらい。効果的な授業や実習の構築を行うた めにも年度初めにシラバスの作成が必要だと思う。					
	進路変更者が多かったのが課題。					
	経理・庶務・会計等明確化を図り、正確かつ適正な事務処理ができている。	3.0	3.1	2.9		
	安心安全な食堂運営安心安全かつバランスのとれた食事の提供ができ ている。	2.8	2.8	2.9		
	計画的な車両の整備点検を行い、安心安全な管理体制の確立を図り、的確 かつ合理的なスクールバスの運行を行うことができている。	2.9	3.0	2.9		
	寮運営において、寮生の実態把握を的確に行い(点呼体制、寮生活におけ る規律体制の確立等)、安心・安全な生活を送ることができている。	2.9	2.9	2.9		
	事務部全体について成果と課題					
	仕方がないことですが、パンの値段の高騰。					
誰がなんの担当の仕事なのかよくわからない。物価高であるがもう少し野菜などを増やしたがよいと思う。車両整備 について、使用する人に事前確認する形で丸投げ状態。車両の不備があっても使わないと回らない現状。問題が起 きても自分でどうにかしてくれと言われる。タイヤやエンジンオイル、冷却水による故障やトラブルは長期的な管理不 足がほとんどだと思います。命に係わるものなので早急に対応し、お金の問題もあると思いますが糸目をつけ ないほうが良いと思います。						
寮や食堂の運営は大変だと思いますがよくやっていただいていると思います、事務も先生方のおかげで学校が回っ ていると思います。改善要望などありますが一つ一つできることからお願いしたいです。						
食堂のメニューが増えてありがたい。生徒も喜んでる。						
いつも快く対応いただいて感謝しかありません。						
見えていないので評価できません。すみません。						
経費節減で、スクールバス路線では苦労していると思うが、路線によっては学校に遅れて到着しているので、ゆとり ある路線にするためにもバス停の精選が必要だと考える。						
業務の移行があり、対応が大変そうに見える 事務部の方々はよく頑張っていると思う						
担任がクラスの金銭の管理までしないといけなはなんとかならないのか。再試手続きなどに忙殺され、残業、持 ち帰りの仕事につながっています。						
故障するバスが減り安心感が増した。						
チーム担任制施行による手当の確認、また、部長手当、主任手当など給与明細を細分化した。						
ミスをなくすこと。職員や学生生徒のためになるように明るく気配りが出来る事。						
校納金の滞納について、こまめに封書で連絡していただいております。						
スクールバスが学校運営に戻り大変だと思う。事務室の人員は充分確保されている。						
生徒数に対して、事務職員が少ないのではないかと。						

評価項目		具体的目標(評価の観点)	評価	評価	評価		
大項目	小項目						
各部 及び 専攻科	進路指導部	進路実現に向けた啓発活動、指導体制の確立が図れており、生徒の進路希望や学力等の的確な把握や指導、計画的、体系的な指導ができています。	3.0	2.9	3.1		
		進学指導において、計画的かつ効果的な学習指導、小論文指導、面接指導等ができています。	2.8	2.9	2.9		
		就職指導において、計画的かつ効果的な学習指導、面接指導等やキャリアプランニング活動の充実ができています。	2.9	3.0	2.8		
		個々の生徒に応じた進路実現を図るための計画的、体系的な体制や指導の徹底が図れている。	2.8	2.9	2.8		
		進路指導部全体について成果と課題					
		個別に丁寧に対応してもらった。					
		担任が小論文など進路の先生や国語の先生、管理職の先生に丸投げしていると感じます。また、進路指導部の先生が少なく書類のチェックが間に合っていない印象です。					
		授業も持たれている先生が空き時間に取り組んでいただき感謝しています。					
		面接指導にパラパラ感を思うときがある。統一したマニュアルをつくってほしい。					
		限られた人員の中で、よく活動されていると思います。					
		面接指導について。9月から11月までにのべ50名近い生徒に面接指導をおこないました。この間は、昼休みも放課後もない状態でした。「生徒のため」という思いでやっていますが、面接指導を誰にお願いするかは、生徒に任せられており、生徒は自分の知っている教師に頼んでいるようです。もう少し組織として計画的にできないものかと思えます。進学指導(特進課外)について、本年度、塾と連携しての課外授業が実施されました。英語の課外で「英検合格を目指した」課外だったようですが、大学受験のための課外であるべきではないでしょうか。たしかに英検資格を持っていることで受験の際にポイントとなる大学もありますが、それは一部の大学の話。大学受験に英語は必ずと言っていいほど必要です。受験のための英語課外であるべきではないかと思えます。					
		三者面談を全学年で行うようになったのはよかったです。具体的な対応は組織的というよりも、各担任任せになっている。					
		自覚を持って進路決定に向けて取り組むことができていない生徒が少ないように思う 一年生の時からの意識づけが必要と思う					
		今後は県内就職や進学する学生がもっと増えるように働きかけたい					
		国公立大学合格を増やす。					
		徹底した進路指導にむけての組織作りがまだできていないと思います。					
		進路部長の負担は大きい。					
		履歴書、小論文、面接指導など行った。就職100%					
		【学校行事について】 体育大会					
		練習時間が限られているため、中身の見直し等も検討していくと良くなると感じた。					
中学生のリレーは無くしていいのでは							
平日開催が良いのではないかな。							
もっと広い場所を借りるなりして広いところで伸び伸びできれば良いと思います。							
暑さに対する対策が不十分。よく耐えていると思います。							
城北の校風、強さを表現する機会なのでバランスよく展開できればと思う。							
生徒たちの協調性や主体性などを養う良い機会となっていると思います。							
時間を持って余す生徒が多いので、やり方を考えなおしたいと思っています。また、時期についても大会などで参加ができなかったり、教育実習の期間とかぶっているため。							
時間が無い中取り組んでもらい感謝しています。以前やっていたように部活動引退後の3年生のエネルギーを活かすためにも前期末の開催も考えてはいかがでしょうか。							
早めの計画をお願いしたい。中学校招待リレーが必要か検討すべきだと思う。							
1日開催の必要性を感じない。現在、小中学校でも平日開催が主流であり、今後熱中症などの生徒の体力面が心配である							
結果としては、素晴らしい体育大会ができています。欲を言わせてもらうなら、全日練習を少なくして、授業時数をもう少し確保できるとありがたいです。							
良かったです。							
新1年生には申し訳ないけれど、酷暑となりどうしても5月開催が一番だと考えます。中学校リレーも必要なのではないでしょうか？							
練習方法の再考							
生徒が楽しみにしている行事の一つだし、参観者も大変多く好評をいただいていますね。日頃見ない一面も見えて有意義な行事だと思います。							
練習期間のことですが、練習には全職員がグラウンドに出て来るべきではないでしょうか。全体練習の時間に職員の別の会合を組んだり、個人的に仕事をするのはいかがなものでしょうか。							
行事としては良いが、授業のカットが多い。練習日程が縮められないのであれば、せめて体育大会終了後は体育の授業を他の教科に組み替えるなどして、授業回収ができるような工夫をお願いしたい。それを実施すると体育の授業は夏休み前までなくなり、体育科の先生方に時間的な余裕が生まれるので、その間に中学校訪問の一部をお願いできる。							
体育大会にかかる時間が多すぎる。先程も書いたが午前中3限授業から4限授業で午後は3限体育大会の練習ではなく、2限の体育大会の練習に減らしてもいいのではないかな。1日練習も予行と準備でよいのではないかな。また絵看板の建てつけについては安全性の観点から業者に依頼した方がいい。							
既存意識にとらわれずニーズに応じた企画ができています							
今年度は、練習日が少し削減されましたが、次年度はさらに、終日練習日をもう1日だけ半日にできないかと思う。							
受付は必要ないのでは？受付がトイレや教室へ行く内部警備 現在の警備が外部警備と分けるという生徒会の負担が大きいに感じる。							
短い準備期間で、最高の体育大会が出来た。なかなか難しい状況もある中、毎年沢山の保護者の見学や来賓の方の参加がうれしい。担当の中学校招待リレーでは、中学校行事と日程がかぶり、参加が激減した。日程を調整するか、プログラムを考える必要がある。							
今年は短い期間で練習や予行を行い、本番を迎えた。よく生徒たちが頑張ってくれたと思う。							
城北名物の体操							
今年度程度の日数で良い。練習時は、熱中症予防の為、帽子着用を考えて欲しい。							
時期や練習時間の見直しをお願いしたい							
現状で良い。							
練習時間の短縮。							
今年度、初めて中学校招待リレーを実施しなかったが、今後もそれでいいのでは、と感じた。							
練習時間を短くして授業時間を確保してほしい。							
職員の役割分担と生徒会との連携強化が必要							
看板や応援団、リレーなど様々な演目が素晴らしいと思った。							
参加していない。							

【学校行事について】 オープンキャンパス

オープニングセレモニーは映像ではなく、コロナ禍前のように大変だがステージでおこなった方がインパクトがあると思う。

受験者が減ったこと、オープンキャンパスに限らず検討していく必要がある。

暑さ対策を。夏の中庭は危険。

かなり好評を頂いていると思います。

短い準備期間の中でよく頑張っていると思います。

生徒募集の大事なイベントとして、在校生職員の負担を軽くする方を検討かと思う。

生徒を中心に置いたオープンキャンパスであることは素晴らしいと感じます。他校にないオープンキャンパスになっていると思います。学科や部活動単位での日程をずらしたオープンキャンパスも良いのではないかと思います。

特記なし

工夫し来た中学生・保護者に喜んでもらえるものができている。

開催時期を考え、学園祭と合わせて生徒の活気ある姿を見せたらどうか

面談のなかで、杉森や玉女、中央よりオープンキャンパスの雰囲気が格段に良かったとの声が多くあった。たいへんだが、いまの流れをキープしなければいけない。

とても成果を上げていると思います。

良かったと思います。

OCは基本的に、午前中。お土産も私は要らないと思います。飲み物は分かれますが、パンとか経費を考えるとどうなのでしょう。

オーキャンの人数が、入学者の人数.....よくわかります

今年また頑張ります

生徒募集のためになくてはならない行事だと思えます。中学生や保護者も楽しんで参加してくれています。「オープンキャンパスでの生徒や先生方の対応がよくなったから城北に決めた」生徒も多いですね。ただ、飲ませ食べさせる必要があるのだろうか？以前カレーライスの時は本当に大変でした。パンにもなって、前日の袋詰めから食中毒予防のための管理など、大変です。熱中症予防のための飲み物だけでいいのではないのでしょうか。

オープンキャンパスに来てもらうことは大事であるが、科によっては参加人数が多く、キャパや専門スタッフの人数で体験の対応に無理をしているところがあると思う。あらかじめ確実に対応できる人数を聞き、対応に無理がないようにした方がいいのではないかと。

参加していただいている中学生、保護者に対してよんでいただく企画、運営ができていると思う

在校生の活躍の場もあり、とてもよい。

素晴らしい

数回にわけて土曜日に実施する。科ごとに実施する日を変える。

職員・生徒一丸となつてのオープンキャンパス。「3回以上の感動を！」モットーに内容も、時間的配慮も行って実施した。猛暑対策の為に開始時間を繰り上げて実施。情熱カレーからパン配布に。かき氷は2カ所から3カ所と増やした。参加者数は1回目・2回目と昨年とあまり変わらない人数ではあったが、この時に城北高校に受験を決めた！という生徒を増やす必要があると思った。

昼食のパンを配布ではなく、城北くんメモ帳、付箋など。学校をアピールできるものをがいいのではないかと。また、他校の調理などでは、学校キャラクターのクッキーやQUOカード。まずは、来てもらうためのアピールが必要

オープンキャンパスを2回行い、そこで参加してくれた生徒たちが本校を志望してくれることが多いように感じた。だからこそ、積極的にオープンキャンパスに来てもらえるように周知の仕方を工夫し、本校に足を運んで頂ける環境をつくりたい。

名物お弁当

毎年大変ながらも各科考えて良いものができていると思います。昼食用のパンなどは、必要ないと思います。

時期等に問題ないと思います。保護者中心のご案内のままの方が良いと思います

中学生や保護者の熱心な様子が印象的だった。

現状で良い。

飲み物は水またはお茶で、パン等の食事は必要ない。

現在の方法だと1つの学科コースしか体験できないので、フリーに体験ができるような方法がないかと思う。

パンやジュースはいらぬのではないかと。

昼食、軽食の提供は必要無い。

学生主体で中学生に案内したり、質問や受験にたいして対応し高評価でした。

在校生と関わる時間があり、中学生のニーズに沿った内容だと思える。

【学校行事について】 中学校訪問

中学校の行事等入っていることが多かった。遠方の学校ほど在籍している生徒についての関心がみられた。

今の方法で良いと思います。

飛び込みで行く為、遠方にいったのに担当者や話せないケースがありました。

事前に確認しておくことは大事だと感じました。

形は検討だが、継続するべきである。

全職員が行くことは一人一人が経営者と思える機会となっていると思います。

特記なし

良い取り組みだと思いが全員でなくても良い

天草や人吉方面は、問い合わせがあつてからの即訪問にしたらどうだろう。中学校訪問時に、在校生の近況報告は必要不可欠であると思うが、何の問い合わせもせず、中学校に出向く職員を心配する。

現状で良いと思います。

個人としてうまくいきませんでした。中学校の進路や三年部の先生に会えなかったり、会えても短時間しか時間をとってもらえずにアピールが弱かったです。

全職員での実施は、職員の受験生確保に対する意識を高めると思えます。しかし、本校の顔ともなるため、経験のある教員が訪問した方が、受験生確保につながるのではと思えます。効果的な中学校訪問の実施を望みます。

遠方の中学校の中には、鼻っから城北は選択肢に無いのか、けんもほろろの対応をされる学校もあります。上がらせてもらえず、玄関での立ち話で終わる学校も。コスバ、タイバを考えた時に、訪問する中学校を少し整理する必要はないかとおもいます。

夏休み明けの中学校訪問については、就職が多いクラスの担任や進路に要する必要がある担任や進路指導主事を含む一部の進路指導部の職員は履歴書に専念させた方がいい。2学期制となり、授業と並行で厳しい。

オープンキャンパスに参加した動機として、中学校に先生からの紹介によるものが多数を占めていることから、中学校とのつながりを強化するためにも担当者を固定した方がいいのではないかと

お得意様の中学校の訪問は固定

時期的に中学校は会議や保護者会や研修が多いので中学校の進路指導主事に会えないと、なかなか情報が伝わらない。アポ取りをして確実に会う必要がある。

全職員で訪問していただき、今年度はネット出願導入の年で、研修やシュミレーションをして訪問して頂いたりしました。中学校の先生方は慣れておられ、思ったよりスムーズに進みました。従来の願書配りの11月の中学校訪問を中止したが、三者面談や受験情報を入手するには来年度は11月実施の方向が良いと思う。

中学校訪問も大事であると思うが、実際に進路担当の先生に会えない現状がある

時期によっては行事と重なったりしていたときもあったが、基本的には進路や3年部の先生方に対応して頂くことができた。今回のネット出願は、中学校の先生方にとってはありがたいという意見が多かったので良かったと思う。

ひとりひとりを大切に、生徒にあった教育 中学校訪問しても担当の先生に会える確率が少ないので、いっせいに訪問では無く考慮してもらいたい 全職員で訪問することは、意義あることと思います。 現状で良い。 在校生がいる中学校や必要な所の訪問だけで良い。 固定制で、じっくり中学校の先生と繋がりを作るのもいいのでは。 現状のシステムがベターだと思う。 参加していません。
【学校行事について】 入試説明会(中学校、塾、個別相談会等)
日航の説明会は午前担当と午後担当に分けて欲しい。終日は長いと感じます。 担当されている先生方、いつもお疲れ様です。 年度によって、動向に違いがあるので読み取りをどう展開するかだと思う。 城北高校のおもてなしの精神が伝わる会になっていると思います。塾と中学校は分けて実施でも良いと思います。 特記なし 工夫し行っていると思う。 良かったと思います。 熊本市内の説明会はもういいのではないのでしょうか。ほとんどが、市内の高校説明会の人数が多くて、時間があるから一応聞きますや、わりやり感がある。地元からと考えるのであれば、軸足を地元でもいいのではないのでしょうか。 中学校の先生向けに個別相談会があってもいいのかなと思います 国の施策で、私学に進学した生徒に対する就学支援金の増額が見込まれます。そうすると、奨学生のメリットが小さくなるのではないかと予想します。生徒募集のための新たな作戦が必要になるのではないのでしょうか。 前年度は中学校と塾は別々であったが今年度は1回にまとまっていたよかったと思う。 しっかりとした企画・運営ができていると思う 素晴らしい 今後も続けることが大事。 今年度41校の中学校説明会に呼ばれたが、全体的には説明会が減少しており、スタイルも3年生全員で聞く形から希望者のみローテーションで聞いてもらうスタイルも増えてきた。(暑さ対策も)新規の声掛けを校長先生にいただき何校かは増えた。八女地区は6月から保護者・生徒全員そろって聞くスタイルで、熊本県でも時期は早目にはなっている。本校入試説明会は、塾・中学校共に42名の参加(R5は塾・中学校別日開催50名)で減少。アフタースクール説明会は4名(うち1名欠席)R5は7名参加で減少。今後説明会にお呼びいただく対策と塾回りの強化も必要。 先生方だけでなく、それぞれの学科コースの生徒たちも、来校して頂いた先生方にコースの特徴や取り組みを発表できたのは良かったと思う。 私立で充実した学科でのびのび学んでいることを伝える 総務の先生方を中心とし、熱心な学校PRIには頭が下がります。 現状で良い 中学校の先生などに城北高校を実際に見ていただく良い機会だと思う。 わかりません。
【学校行事について】 学園祭
日程(1日半)よかったのではないかとと思う。 1日開催で良いと思います。 生徒たちの意見を聞くと、面白くないという意見が多いようです。 今年度は雨の中、生徒たちはよく頑張っていたと思います。 芸術鑑賞がほしい気がする。 1日の実施で良いと感じます。 特記なし 大変な中でやるが行事ことは生徒の新たな面が発見でき良い。 生徒は2日を強く希望しているので、次年度は当初からその方向でいいかと思う。 今年度は1.5日の開催であったが良かった。 生徒が意欲的に取り組んでいるという面では、とても素晴らしいと思います。 前日に準備の方が良かったと思います。 バザーはもう外注に頼る時期。何かがあっても遅い。 生徒が楽しみにしている行事なので、大事にしたいです。今年みたい1日目は校内(生徒だけ)、2日目だけ公開でいいとおもいます。 時期を前に移動させ、夏休み明けすぐに実施して、それを終えて3年生の就職試験という流れはどうでしょうか。また、日程のうち1日はオープンキャンパスを兼ねて、生徒が学科紹介(開催時間を決めて)などの中学生対応をするのはどうでしょう。 今年度の時間設定でよいと思う。 地域の方々を取り込んだ開催をするために、八千代座を利用して開催ができないものかと思う 卒業生の飛雄馬君を呼ぶのはどうでしょうか？ 新体育館での発表を見学する生徒の様子や態度が乱れていた所以对策が必要。 従来の学園祭のスタイルに戻ってきたという実感があつた。展示品等は少なくなったがステージ発表やクラス展示も頑張っていた。クラス展示の内容は良く吟味する必要があると思う。 城北高校クイズ 楽しそうな雰囲気を感じていた。 現状で良い。 例年は準備1日、学園祭2日の計3日必要だったが、今年のように準備半日、学園祭1日半の実施でよい。 今年度の1日半の実施は良かった 今年度の1.5日開催は良かった。 日程と内容の見合わせを行って効率的な運営をすることが必要。 参加していません。 校内開放はリスクが大きい。
【学校行事について】 各科の地域活性化の取り組み(マロンウォーク、産後ケア事業、国際交流、地域探究フィールドワーク、高齢者サロン運営等その他)
マロンウォークは初めての取り組みだがとても良かった。 どの取り組みも各学科の特色が生かされている。 生徒たちの活躍の機会、外部への広報活動にもつながったと思います。 対応された先生方、お忙しい中ご苦勞様です。 いい方向性だと思う。特色作り、選ばれる学校に向けた取り組みは継続進化だと思う。 生徒たちが主体的に計画をし、実施することで社会人基礎力の育成につながっていると感じます。z 特記なし 先生方の負担(そんな余裕があるのか)になっていないか、やりがいを持って行っているかが心配 地域連携はわかりませんが、年々増えていっている印象。授業の中での位置付けができるものやHRの一環として行えるものにある程度絞っていただきたい。 時間の許す範囲で、地域へ。 各科において、よく工夫されて素晴らしい取り組みを展開されていると思います。こういう取り組みも、本校の口コミの評判を上げるのに大いに貢献していると思います。

マロンウォークはとても良い取組だと思いましたが、実施場所を山家の商店街などにすると商店街も盛り上がり利益も出て良いかもしれません。
毎年新しいものではなく、腰を据えて5年、10年スパンで、地元優先でできないものでしょうか。
生徒の成長のためにこの取り組みは続けるべきだと思います。 毎年試行錯誤ですが、、、
各学科、地域での学びを取り入れつつ、地域活性化へつなげるような取り組みがなされていると感じます。生徒が地域へ出ると同時に、地域で暮らす人が本校へも足を運んでもらうような仕組みがあると活性化していくのではと思います。
各科で特色ある取組がなされ、地域の活性化に大きく貢献していると思います。ただ一方で、携わられている先生方や生徒の負担になっているのではないかと危惧します。休日に、先生方が生徒を引率していかれているのを見聞きするとそういう思いになります。 主催者側は(義務制にいた時もそうでした)学校に頼むのが手っ取り早いので、安易に依頼してきます。それぞれの催しが生徒の(その科としての)教育に意味があるのかどうかを吟味して、「できないものはできない」と断ることも必要かとおもいます。
学科の特色をアピールする機会になり、それでしか得られない効果もあり、素晴らしい取り組みだと思うが、職員の多忙感を生む要因になっているように感じます。また校外活動で教員の不在が増え、
地域活性化の取り組みを決められた題材で行うことにより探究活動ができています。しかし、探究活動は本来個人が探究したいと考える題材について活動することなので、個人探究ができるようにしていくことが課題である。
地域になくなくてはならない学校としての存在感を高めるために更なる研究・工夫が必要 マロンウォークはとても良かったと思います。今後も続けてほしい。
生徒の主体性のある態度、成長の様子など発信出来て、大変素晴らしい。生徒たちの可能性を大いに感じる。
それぞれ学科の特徴を生かした活動も多く、よく頑張っていた。恒例化したものや新規の取り組みもあり生徒が堂々と取り組んでいる姿は素晴らしい。
とても良い取り組みであり、どんどん地域に出向く必要がある。特に福祉、看護はとても感謝される分野である。 清掃ごみ収集など地域から喜ばれることをする
各科忙しいながらも、熱心に取り組み思考を凝らして、地域活性化に繋がっていると思う。しかし、行事が多すぎて、先生方が疲弊しているのも事実です。ターゲットを小中学生に絞って、生徒募集につながれば良いと思う。
開催して良かったですが、継続してもらいたい どの取り組みも素晴らしいと思います。 地域に貢献できるとも嬉しい活動だと思います。 現状で良い。
今年度は山鹿市役所と連携ができた探究活動になったことは成果です。課題としては、総合型選抜に活かせるような探究活動に深められていないことです。
マロンウォークは、良い企画だったと思う。今後に期待です。 山鹿に貢献する活動ができています。 各科の特徴を活かして地域貢献ができて素晴らしい取り組みであると評価できる。 JAICA研修では、国際看護が学べた。 マロンウォークはとてもよかった。スポ科の生徒の対応に、地域の方が大変感動されていた。是非これからも続けてほしい。
【学校行事について】 その他
授業時数の確保をしながらできることを計画的にできていると思う。 準備期間が短かったり、職員間や生徒間で情報共有ができていなかったり 頑張っている現状と思うが、偏りが気になり、教員の負担感をどうクリアしていくかです。 特記なし 行事の精選は行って行った方が良い。 増やすだけではなく、減らしたり時期も踏まれて見直しを 2期制に移行しても、行事精選が進んでいないので、授業時数に影響があったと思う。思い切った精選をしないといけない。優先度の低い行事はカットするべき。
年度末に振り返る機会を作っていたのはありがたいですが、それぞれの行事を行った直後にそれぞれの担当者の方で、アンケートなどで成果や課題を振り返る機会を作っていたと思います。時間が経つと忘れてしまいます。行事の直後、記憶が新しいうちに振り返って、記録として残しておく、次年度の計画立案の際に大いに役立つと思います。
新入生の奨学生認定式を入学式当日に行うのであれば、入学式内で簡潔に行うなどし、担任が学級懇談会とその後の個別相談をゆとりをもってできる状況を作るべきだと思います。 火曜日の5・6限を使っての講演会が多かったですが、希望手帳は自宅で記入させる、短縮時間割・掃除カットなどで時間を作り、5限目が削られないような工夫をお願いしたいです。
とにかく、学校行事が多すぎるので、学校行事を減らしていく。 生徒が進んで参加するような工夫が必要 山鹿にこれだけの私立高校があることが貴重なので、今後もっと地域の方々と連携して盛り上げていけるといいです
行事の精選も大切ですが、本校の生徒を育てる学校行事は工夫を凝らしながら続けるものと、思い切ってカットできるものはカットする必要があります。そしてそれを情報発信して、沢山の方々に知ってもらえる事も大切だと思います。
城北グッズなど物販 学科に関係のある行事は賛成であるが、授業時間数のこともあるので、無理のない計画が必要。 学校行事はもちろん大事ですが、授業時間確保とのバランスは見ていくべきだと思います。さらなる行事の精選が必要になると思います。 精選して授業時数を確保する。 学生主体に行った1,2年交流会ばい親睦の機会になった。
本校におけるICT教育について
教科により使用にはばらつきがある。 教科指導において全体で1つ統一して共通する活動を行ってもいいのではないかと感じた。 1人一台パソコンが準備されたことで、やりやすくなった部分もある。 とても良い取り組みだと思うので継続して行いたい。
全ての科目においてICTを活用することはなかなか難しいのではないのでしょうか？ 全科目、最低でもノートへの板書は、紙でもiPadでもどちらでもよくなってくれば 生徒たち自身が工夫をしながら少しずつ利用は増えていくと思います。
進み具合に追いつくことができずじまいたが、食い下がってつなげていきたいと思う。
生徒たちはタブレットを使いプレゼン作成やレポート作成などを行っています。ただ、私自身が授業において効率の良い活用ができていない現状です。次年度もさらに活用方法を模索していきたいと思っています。
特記なし こちら側が追いついていない部分がある 中途半端。 担当の先生方に頭が下がります。 ハード面は整いつつあると思います。今後はそれを使いこなすスキルと、事例研究が必要なのではないでしょうか。 進んでいないと思います。学校として進めたい方向やビジョンが明確にあり、それを全員で進めようとする強いリーダーシップがあればもう少し進むのではないかと思います。

今年度、職員全員にPCを貸与していただき、とても業務がスムーズに進む感じを実感しています。ありがとうございます。
各先生によって、ICTを活用できているかどうかは個人差がある。
徐々に充実してきているように見える
これも大切だが昔ながらのアナログの大切さが分かった
フィルターが厳しすぎなのでもう少し緩めてほしい。
多くの情報収集やデータ処理能力が生徒たちの身に付いている。
工夫されて取り組まれている先生も増えており、是非教材の共有や情報提供、またそのための研修会を開く必要あり。考査前の学習もタブレットを使って生徒は学習しています。
使い方、危険性などの講習会
ICT機器に強い先生、苦手な先生とで使用の差があまりにあると思います。簡単にできる授業実践を広げていくしかないと思います。
プレゼンの資料を生徒に作成させて発表に活用。授業で活用している。
大いに活用していると思う。
ノートパソコンの導入はありがたい。もっと活用したい。
理事役員、教職員全員研修について
関係者全員が一堂に会して同じ課題について意見を出し合い方策を考えることは、とても有意義だと思います。
城北高校の歴史について知れた。
全体研修よかったです
平日開催で良いと思います。
交流ができてとても良いと思う。
年1回の実施だが、意義はあると思うので継続、形を年ごとに検討して実施できればと思う。
理事の先生方も含め、全職員で学ぶ機会はありませんし、顔を合わせる機会も少ない先生方もいらっしゃいます。大変良い機会だと感じています。
特記なし
良い取り組みだと思う
上記にも述べたとおり、やり方を検討すべきだと思う。無理に、理事役員との研修は必要ないと思う。
全員研修は先生方との親睦が図れた。
研修での学びだけでなく、普段の勤務では分からなかった先生方の新たな一面を見ることができました。風通しの良い職場環境に繋がっていくのでは、と感じました。
不評の声はあまり聞きませんので、次年度も続けて良いのではないかと思います。
取り組みとして、良いと思います
研修会での貴重な意見が、実践へと繋がっていく事を職員が実感できると、もっと研修会の意義が生まれてくるのではと思います。職員間の意見交換だけの目的に終わっているような気がします。
話し合いはしているが、あまり反映されているとは思えないと感じている。
特にありません
全員研修の中に、非常勤の先生も入れてほしいという意見がありました。
素晴らしい
他学科の先生方と話し合う良い機会。特に庵教頭先生のプレゼンは良かった。
「選ばれる学校」について、その後で体験をどう展開していくかを考えて、みんなで実践していくことが大切だと思います。
全体であまり話す機会がないので、全員研修の場は今後も必要であると感じる。研修も大事であるが交流目的でも気分転換が図れていいのではないかと
普段話をしない先生方とも交流し、様々な視点からの話を聞け、意見交換もできたのでよかった。
旅行積立をする。
普段あまり話さない先生などとお話でき、知らない一面などが見れて、親睦と意見交換など研修会ができた。地域活性化を考えれば山鹿地域や熊本市内で開催をお願いしたい。
この評価をもとに、夏の全員研修で協議してはどうかと思います。
教職員研修については、全員が参加し建設的な意見交換ができてよかった。
現状で良い。
今年度はもう少し交流の時間が欲しかったです。学校経営についてのアイデアや意見を話しあう場を今後も作ってほしいです。
お盆の時期は避けてほしい。
意見交換がたくさんできて元気が湧いてくる内容で良かった。
2学期制について
長期休業前に区切りがないので、3学期制の方がよいように思います。
成績や考査の回数が減り、仕事の負担が減った。
特に問題等なかったように感じた。
考査と成績交換が短いので考査の時期を考えていただけたらと思います
概ね良いと思います。
学科によっては大変だと思います。
今年より実施、あと2年試行しながら、よりよいもの、生徒教員ともに余裕を持って生活ができればと思う。
今年度は慣れない2学期制であった為、私自身が計画的に動けないこともありましたが、全体を通して見ると余裕を持って動くことができました。秋休みもありがたい休みでした。生徒たちは特に困っていることはなかったように感じます。
特記なし
やり始めてメリット・デメリットをどう次に活かすかが大事
初年度であり、日程調整が難しかったと思います。秋休み等で授業が進まず試験や実習等にも影響があった。
成績処理の変更にも苦慮している。
よかった。
担任にとっては、事務量が減って良いことだと思います。ただ、3年生の評価評定に関する部分はまだ検討の余地があるのではないのでしょうか。
成績処理や通知表作成等の業務は明らかに減ったと実感しています。
2学期制でいいと思います。
成績処理等に余裕がある。自分が2学期制のペースに慣れず、授業のペースが行き当たりばったりだった。
2学期制を導入した目的の1つに「テストの回数を減らすことで教師の負担軽減を図る」ことがあったと思います。そのかわりに「すべての科目で4回ともテストを実施する」ことが求められたと記憶しているのですが(実技技能科目は別として)。本当にすべての科目でテストが実施されたのでしょうか？
2学期制は始めたばかりなので、いろんな意見を参考にしながらそれぞれの行事の時期なども、今後変えていけると、よりやりやすくなっていくと思います。
考査間の授業日数が不均等で、授業進度が得られず考査ができない教科があった。
仮評定のつけ方や時期、校内選考会など様々な面で課題がある。大学や専門学校への調査書提出を考えると2学期制でしばらく行うならば、11月の大学・短大の推薦試験から前期終了の仮評定が必要だと考える。何回も仮評定を出すことを考えると3学期制の方が進路にとっては都合がいい。
今のところ問題は無いと思う

秋休みがあるのはとてもうれしいですが、周りが3学期制で動いているので、就職試験をはじめ対外的な行事との重なりがかなりありました。
心の病んでいる生徒がいるので秋休みは助かる 簡略化され効率的。
三年生で、総務部のオープンキャンパスや中学校での説明会の時期の秋休み等なかなか日程的にハードで変化することはあまりありませんでした。また、部活動の大会と定期考査や打ち合わせ会がかぶったりして大変でした。学年の定期考査前の学習指導も必要だと思います。
2学期制は、休みや単位にしても評価がしやすい
2学期制になり、夏休みの終わりが1週間早くなったことで、就職を考えている生徒たちの対応が時間をとって行えたのでよかった。特に問題はなかったと思う。ただ、一週間と試験期間が長く授業時数確保は大丈夫なのかと感じた。
課題が多く、現時点では課題を克服できていない。
調査書にいつまでの成績を記載するのか、担任の先生方に統一できなかったことが進路指導部の反省点です。外部に提出する書類の記載内容を整理することが、次年度への課題です。
授業時数は増えた。定期考査の時期を考えてほしい。
働き方改革につながっていると思う。
メリットもデメリットもあるが、悪くはないと感じている。
チーム担任制について
担任交代制という意識が強かった。負担感が減ったと思ったが、チーム担任制の本当の意味を理解した中では、担任を固定した方がクラス運営はしていきやすいと思う。
交代担任生の意識が自分自身強く、試行期間があったがあまり本格的な試行というところまではならず、試行において、改善すべき点があった。
三年生は固定にして、1、2年生はチームでもいいのか？
来年度、実施可能なところから始めてほしい。
中々難しいと思います。
チーム担任制でも固定担任制でも人員を増やし、先生方一人ひとりの仕事量を減らすこと、時間割の組み方にも工夫が必要だと考えます。
来年度、全体で実施ではなく1年間通しての検証も兼ねて、1年生のみとか、1・2クラスの一部のみとかでやってみてもいいと思います。現時点では厳しいので、移行期間を延長して、数年かけて独自のものができればと思う。
教師館の情報共有は今まで以上に密に必要があると感じました。しかし、密に行くことで生徒たちへの声のかけ方が変わり、効果的な指導にもつながったと思います。生徒たちは、いつも同じ教員が担任であることは安心感もありますが、同時に甘えにもつながっていたように感じます。当たり前の概念が少しばかりずれていても気づけずに入力されたい状況にいた生徒もいました。2回目の実施においては1回目より柔軟になってきたように感じます。生徒にとっても教員にとっても様々なことを学び感じることができるチーム担任制であったと思います。今後も試行錯誤しながら良い方向性を導き出さなければならぬと思いますが、継続的に実施させてほしいと思っています。
みんなで取り組むことはよいと思うが、責任が曖昧になる。厳しい先生の基準でなく緩い先生の基準になる。担任にならない条件で常勤を引き受けている先生方をどうするのか。
良いと思う、やれない理由よりもやれる方法を考えて知恵を出し合っていけば良い
年度途中での施行だったので、マイナス面が多くみられ難しさを感じた。 固定であれチームであれ主になる人が大変かと思えます。
過渡期にあると思う。しばらくすれば成熟するのではないかと。ただし、教員間の熱量や共通認識を深めることが大前提となる。
基本的には現在の担任・副担任制が良い。生徒のアンケートでも反対が多い中で実施するのであれば、そのメリットを明文化してほしい。また、仕事量と人員が変わらないで、担任業務の軽減につながるのだとすれば、どこかの先生の仕事量は増えるということになる。仕事量の平均化をするのであれば、待遇面での平均化も図っていただきたい。
定年退職後の講師が多数いる中でのチーム担任制は、スタッフの数の面から非常に厳しいものがあると思います。実施するかしないかの判断は、生徒を中心にすえて、メリットとデメリットを精査して慎重に行う必要があるのではないのでしょうか。
朝と帰りのホームルームに行くだけならば担任としての業務が減ると思います。しかし、家庭とチームの連携、チームにおけるルール設定や情報共有、ロングホームルームにおける生徒の育成などは、全体としてもチームとしても計画を綿密に立てないとうまくいかないのではないかと感じました。全体としてどう進めていくのか、チームの連携をとるための時間の確保、上手いチームへのサポート体制があればうまくいくのではないかと思います。
継続希望。本校全体ではなく、出来る科で、できる学年で取り組んでいきたい。
仕事の分担、資質、待遇等検討余地があると思う。
チーム担任制は、教育の質の向上につながると思います。教員のキャリアの違いから教育力の格差をなくして、教育力を一定に保つためには、とても良い試みだと思います。 しかし、導入するにあたっては、チームの仕組みが必要だと感じます。チーム間での協働ができるような人員配置、リーダーの配置および、リーダーの役割の明確化、チームメンバーの役割の明確化など、チーム力を向上させるような仕組みづくりが必要だと感じます。
先日の「チーム担任制に関するアンケート」にも書きましたが、本格導入するならば、その前に解決すべき課題、整えるべき環境があると思います。(アンケートをご参照ください) 私は、固定担任制で1クラスに担任1人副担任1人とすべきだと思います。「人が足りない」のは理解しています。非常勤ではなく常勤の先生を増やしていただきたいと思っています。人件費がかかるのも理解しています。
試行期間を通して感じたことは、全日制で導入するには、学級経営方針に差異が少ない方がうまくいくように思います。差異が大きい場合はチーム内での細かい打ち合わせが必要になりますが、現実的には時間確保が困難であったり責任感のある教員側に負担が偏るので、生徒側が「その時の担任の運営方針(指示)に従うこと」「連絡内容に食い違いがある場合は確認をすること」を前提として「生徒が対応力をつける取り組み」とすれば良いかと思っています。
生徒が様々な意見を聞くことができるのはいいと思う。生徒の意見にも書いてあったが、先生によって言うことが違う部分をどこまで揃えるか、そのためには綿密な打ち合わせが必要であり、現在の私たちにそんな時間の確保は難しい。結局は主で見る人が必要ならば、固定担任制で副担任が1クラスに一人を確実につけたほうが良い。
誰と組むかが問題であるという意見がある。現在のスタッフでは難しいと思う。
チーム担任制の考えは良いと思いますが、本校のように非常勤講師や講師の多い学校では無理があるかと思えます。朝の会の進め方も、夕会の有無もクラスによって違うので、最低限のことはある程度そろえないと、担任が代わるごとに生徒には不満が募る気がする。
部長は外すか、部長が担任の時は、担任を外れている者が対応する 主担任がいてのチームであれば良い。業務も責任もとなると手薄になる可能性がある。
成果はスポ科3年2クラスの生徒と沢山関わったことは成果です。しかし、なかなか30人2クラスを3人で見るための情報共有がしにくく、特に三年生は、進路指導や三者面談、書類作成や提出となかなかフォロー体制が取りにくい状況がありました。生徒も困惑する状況もありました。

1,2年生は生徒との関わりを増やすためにチーム担任制でもいいと思うが、3年生は進路が入ってくるので、固定制がいいと感じた。複数になることでいろんな見方ができる。グループダイナミクスなどの心理学を学んでよりよきクラス運営を目指してほしい。担任、副担任と人によって責任感や愛情などに温度差を感じる。そこをどう埋めていくのが課題である。課題が多く慎重な検討がまだ必要である

チーム担任制には反対です。チーム担任制を取り入れる前に、今よりも担任・副担任の配置を充実させ、その上で連携をしっかりと図れば、チーム担任制のメリットは十分生かせると思います。それよりもチーム担任制にした場合の情報共有の時間の確保など、デメリットが大きいと思います。

実施してよいが、学科によっては難しい。実施してみてもいいと思う。ルール基本方針等を整えることが大切。同一労働同一賃金のシステムができなければ、やるべきではない。次年度は、是非取り組んで欲しい。進路を決める3年生だけは、固定担任制がよい。

その他 全体を総括して

先生方、いつもお忙しい中ご苦労様です。

成果は必ずあるし、課題があるのも当然である。少しずつでも改善する方向を、教職員が同じ方向性、協調性、柔軟性を持つこと、他人任せにしない雰囲気、我を出し過ぎない個人的な見解を話せるようになることかと思う。

何かお手伝いしようか。と声をかけていただける環境下で仕事をさせていただいていることに感謝しています。課題は様々ありますが、一つ一つ計画的に動くことが大切だと感じた一年でした。

課題に対して、課題のまま終わっている印象があります。若い先生方が城北で働きやすい。教員としてキャリアアップできるようにお願いしたいです。言ったもん勝ち、やったもん勝ちでは、ますます若手が抜けて退職者と非常勤だけで学校が回らなくなると思います。

多忙感や、うまくいかないや悩むこともあるが自分が頑張りたいこと(好きなこと)は人は頑張ると思うので、それぞれ得意不得意はあると思うが苦手なことこそ自分を成長させてくれるチャンスと思い頑張りたい。自分の事も大事にして行きたい。適材適所・先生方は何かしらのスペシャリストだと思うのでその人が生きる(スキル・やりがい)ものをしていただき、これがあるからきつても頑張れると思えるような希望が持てる学校運営ができるよう期待しています。管理職の先生方も難しい舵取りの中、重々こちら側に配慮しやっつけていただいていると思いますし100人が100人納得するものは無いと思いますが先生方のバイタリティーで救われています、先生方を見習って成長できるよう学んで行きたいと思います。

入試において、明確な基準が必要だと思います。この10年でいろんなものが見えたと思います。定員を満たす、オーバーが目的ではなく、例え入学者は満たなかったとしても入学者の満足度を上げる時期に来たのではないのでしょうか。

R8は、入学者定員満たすようにさまざまな工夫と努力したいと思います

自分ができていない部分を改善してより良くする部分を増やしていきたい。

管理職、教職員ともによく頑張っていると思う。

サーバーの中のデータがもう少しわかりやすく整理できないかと思います。

時間が足りない 何かをするなら何かを減らさないで仕事が回らなくなる 何かを減らす勇気がある

特進の進路実績を上げれば志望数が増えるので対策必要。福祉科の魅力発信、素晴らしい教育内容なので是非。

就学支援金の所得制限撤廃など私立に追い風が吹いている今、力を合わせて頑張りましょう。

この評価をもとに、夏の全員研修で協議してはどうかと思います。

相手のことを思いやり、生徒・保護者・学校の為に、考えて行動できるように努める。期待値以上のパフォーマンスを心がける。城北高校を選んでいただけるよう、できることをしっかり頑張ります。

校務分掌に沿ってそれぞれが成果を出されていると思う。

私学の登板校になっている先生には1つの公務として考える。

職員はみんな頑張っている。

今年度入職し、環境に慣れることで精一杯で総括する余裕がありません。

4 生徒による評価総括表		当てはまる		まあまあ当てはまる		あまり当てはまらない		まったく当てはまらない	
		6年度	5年度	6年度	5年度	6年度	5年度	6年度	5年度
1	学校の教育方針や教育に関する取り組みなどの情報は十分に伝えられている	23.3%	24.8%	67.6%	63.3%	6.8%	9.6%	2.3%	2.3%
2	学校から配布される文書はわかりやすく丁寧なものになっている。	34.2%	35.0%	59.4%	58.7%	4.9%	5.3%	1.5%	1.1%
3	学校からの連絡は適切な時期・時点で行われている。	26.5%	24.3%	54.6%	50.2%	16.4%	19.5%	2.4%	6.1%
4	先生方は家庭への連絡をきめ細やかに取ってくれる。	27.6%	25.6%	55.8%	54.1%	13.1%	17.2%	3.6%	3.1%
5	先生方の対応は親切で誠意があると感じる。	31.5%	34.5%	52.1%	49.2%	11.9%	13.3%	4.4%	3.2%
6	先生方は生徒の悩みに対して親身に相談にのってくれる。	32.6%	37.0%	53.1%	47.3%	10.4%	12.6%	3.9%	3.2%
7	城北高校は学校行事が充実している	20.8%	22.5%	52.6%	47.5%	20.2%	23.2%	6.4%	6.9%
8	城北高校は基本的な生活習慣や規範意識を身に付ける指導が適切に行われている	32.1%	34.6%	57.4%	53.5%	8.0%	9.8%	2.4%	2.2%
9	城北高校では命や人権を尊重する指導・学習が適切に行われている	45.8%	44.5%	48.5%	46.2%	3.9%	7.8%	1.8%	1.7%
10	城北高校では安心して学校生活を送ることができる。	33.2%	32.2%	54.3%	53.8%	9.8%	11.4%	2.6%	2.7%
11	城北高校ではいじめのない学級、学校づくりがなされている	32.7%	31.3%	57.1%	52.7%	7.4%	12.5%	2.8%	3.7%
12	城北高校では健康と安全について適切な指導が行われている。	49.6%	43.5%	46.7%	48.6%	2.6%	7.1%	1.1%	0.9%
13	城北高校では進路について情報提供が適切になされている	35.8%	39.6%	54.4%	49.3%	7.5%	9.2%	2.3%	2.0%
14	城北高校は教育に必要な施設や設備が整っている。	30.6%	31.3%	54.6%	51.3%	11.9%	14.0%	2.9%	3.4%
15	城北高校はほかの学校にはない特色がある	31.3%	33.3%	45.4%	44.1%	17.8%	18.7%	5.5%	4.0%
16	城北高校での生活や学習は自分の成長に役立っている。	30.2%	33.2%	56.2%	53.6%	10.1%	11.3%	3.4%	2.0%
17	就寝、起床、食事など規則正しい生活をしている	42.1%	40.0%	40.1%	39.1%	15.8%	17.0%	2.0%	4.0%
18	学校を欠席、遅刻しないように日頃から心がけている。	63.0%	65.9%	31.3%	26.3%	4.6%	6.6%	1.1%	1.3%
19	先生や友人に毎日あいさつをしている。	53.7%	59.4%	40.5%	35.3%	5.2%	4.7%	0.7%	0.7%
20	希望手帳を有効に活用している。	9.9%	13.3%	31.3%	29.4%	41.2%	37.5%	17.6%	19.9%
21	心の掃除に意欲的に取り組んでいる。	33.9%	33.2%	58.9%	54.1%	6.4%	10.3%	0.8%	2.5%
22	家庭学習（予習・復習・自学）の時間を十分に確保し取り組んでいる。	13.8%	12.6%	40.1%	38.5%	34.9%	39.1%	11.2%	9.9%
23	学校の授業内容を理解している。	17.5%	17.8%	60.5%	57.8%	18.6%	21.1%	3.4%	3.5%
24	特別活動（学校行事・生徒会活動・部活動など）に積極的に参加している。	41.2%	38.2%	43.2%	42.1%	11.7%	16.4%	3.9%	3.4%
25	学校の施設、公共物を大切にしている。	62.6%	67.4%	34.4%	30.8%	2.3%	1.4%	0.7%	0.5%
26	自分の将来に夢や希望を持っている。	41.8%	39.2%	40.1%	39.6%	14.0%	17.2%	4.1%	4.1%
27	明るく生き生きと学校生活を送ることができている。	36.8%	40.6%	52.9%	46.5%	8.1%	10.9%	2.1%	2.2%
28	城北高校に入学してよかったと思っている。	29.3%	29.4%	50.8%	47.2%	14.7%	16.4%	5.2%	7.1%

令和6年度学校評価(保護者)

NO	質問内容	令和6年度評価(%)	令和5年度評価(%)
1	城北高校の保護者は、城北高校の教育方針を理解し、よく協力している。	4(24.9)3(52.6)2(18.5)1(4.0)	4(23.8)3(66.8)2(9.1)1(0.4)
2	城北高校の授業は、工夫されており、子どもの学力を伸ばしている。	4(23.6)3(47.6)2(24.2)1(4.6)	4(31.9)3(58.2)2(9.6)1(0.3)
3	城北高校の学校行事は、子どもにとって充実しており学校の特色となっている。	4(30.2)3(46.3)2(19.8)1(3.7)	4(34.0)3(56.4)2(8.9)1(0.8)
4	城北高校の進路指導は、生徒の将来を見据えた適切なものである。	4(26.2)3(46.0)2(22.5)1(5.3)	4(32.1)3(55.1)2(10.6)1(2.3)
5	城北高校の職員は、生徒の進路希望達成に向けて積極的に努力している。	4(29.1)3(44.1)2(21.1)1(5.7)	4(37.5)3(50.2)2(10.4)1(1.9)
6	城北高校の職員は、生徒の悩みや保護者の相談に親身になって対応している。	4(33.0)3(40.3)2(19.8)1(6.8)	4(34.0)3(46.2)2(16.4)1(3.4)
7	城北高校は、生活面での規律(挨拶、時間を守る、服装など)の指導に力を入れている。	4(34.6)3(46.5)2(14.3)1(4.6)	4(40.2)3(51.1)2(7.0)1(1.7)
8	城北高校の部活動や生徒会活動などは、活発である。	4(34.4)3(44.9)2(17.0)1(3.7)	4(44.3)3(50.8)2(4.0)1(0.9)
9	城北高校は、健康・安全に関する教育がよく行われている。	4(26.0)3(48.7)2(20.3)1(5.1)	4(27.9)3(58.3)2(12.1)1(1.7)
10	城北高校は、人権教育の推進に力を入れている。	4(23.1)3(49.3)2(21.4)1(6.2)	4(21.3)3(59.8)2(16.2)1(2.6)
11	城北高校は、掃除が行き届いており校内が整理整頓されている。	4(40.3)3(43.4)2(13.7)1(2.6)	4(44.5)3(51.1)2(4.0)1(0.4)
12	城北高校の教育環境(施設・設備)は、学習しやすいように整備されている。	4(28.6)3(48.7)2(17.8)1(4.8)	4(32.1)3(57.0)2(10.0)1(0.9)
13	城北高校は、家庭への情報提供や連絡等をきめ細かに行っている。	4(32.4)3(40.7)2(21.1)1(5.7)	4(33.0)3(46.0)2(18.7)1(2.3)
14	城北高校は、保護者及び地域社会に信頼されている。	4(28.0)3(47.4)2(21.4)1(3.3)	4(26.2)3(62.5)2(10.4)1(0.9)
15	私は、城北高校に自分の子どもを入学させて良かったと思っている。	4(48.5)3(33.5)2(13.9)1(4.2)	4(52.8)3(37.0)2(7.5)1(2.6)